

1 感染状況 10万人当たり新規感染者数（週合計）

1月5日

0人

皆増

1月19日

71.6人

約4倍

2月2日

267.3人

保健所業務が
逼迫

※これまでにないスピードで感染が拡大し、**過去最多を連日更新**

2 主な取組

(1) 保健所の体制強化 ①

※1月14日～2月2日（20日間）

- **振興局各課から保健所に延べ307名の職員を派遣**

※1月18日～2月2日（16日間）

- **管内市町から延べ109名の保健師・事務職員が応援**
- **派遣職員の大幅な増員への対応や感染リスクを分散するため、**苫小牧保健所の駐車場にプレハブを設置**（1月26日）**



(1) 保健所の体制強化 ②

- 更なる感染の拡大に備え、振興局職員が苫小牧保健所の陽性者情報を、遠隔でシステム入力する支援体制を強化

(2) まん延防止等重点措置を踏まえた主な取組

第三者認証制度

- 飲食店の速やかな認証取得のため、委託事業者とは別に、振興局で申請の受付・現地確認（112件）
- 管内各市町、商工会議所・商工会と連携して取得を加速化（苫小牧市：認証店に5万円支給、室蘭商工会議所：認証に向けた現地指導 等）

市町との連携・住民への広報

- 地方本部(1月24日)への市町Web参加、首長との意見交換(2月1日)等により、感染状況の共有と措置内容の住民への周知等を依頼
- 地元紙への感染状況のブリーフィング(室蘭保健所・苫小牧保健所)による住民への呼びかけ



▲振興局会議室を遠隔入力業務専用スペースとして活用



▲NHK室蘭ニュース（取組の可視化）